

2022年5月18日
すみだ北斎美術館

展覧会開催のお知らせ

特別展 北斎 百鬼見参

北斎や門人による、怖い鬼、哀しい鬼、愛すべき鬼等、約145点の鬼の浮世絵が集結！

すみだ北斎美術館では2022年6月21日（火）から8月28日（日）まで特別展「北斎 百鬼見参」を開催いたします。



古来、日本人は鬼の存在を信じ、暮らしにも取り入れ、ともに生きてきました。神話・伝説、芸能、小説、マンガ、アニメ、ゲームに至るまで、鬼が登場する創作物は数多く、それだけ、鬼は日本人の心に深く根ざし、その精神世界の形成に大きな影響を与えています。そして、古典や芸能、また新たに江戸時代に起こった読本などを題材とする浮世絵にも、鬼は多く登場します。

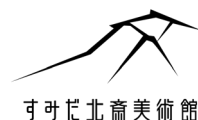
本展覧会では、人気の錦絵「百物語」や版本などから鬼に関連する作品を紹介し、鬼才・北斎がどのように鬼を捉え、表現してきたかに迫ります。また、当館初公開の貴重な北斎の肉筆画も展示します。北斎が描くさまざまな鬼が展覧会に集結する迫力ある様をぜひお楽しみください。

■本展の見どころ

- ◎北斎や門人が描いた鬼にまつわる浮世絵を前期・後期あわせて約145点展示！
作品を通して、鬼才・北斎が鬼をどのように捉え、表現してきたかに迫ります。
- ◎怖い鬼、哀しい鬼、愛すべき鬼…。
日本における多様な鬼の姿を描き出す、北斎の発想力と筆力をご覧ください。
- ◎北斎には珍しい能を題材にした肉筆画、葛飾北斎「道成寺図」を当館初公開！
「道成寺図」は本展のために修復を行いました。（別紙参照。）

■展示構成

1章 鬼とは何か／2章 鬼となった人、鬼にあった人／3章 神話・物語のなかの鬼／4章 親しまれる鬼

報道関係の
お問い合わせ先すみだ北斎美術館 広報・プロモーショングループ
野田 / 中原 / 林 (アシスタント高橋)
TEL : 03-6658-8991 / FAX : 03-6658-8992
Email : hm-pr@hokusai-museum.jp

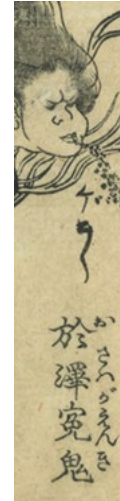
1章 鬼とは何か

日本における「鬼」は、「幽鬼」のように死霊に対して鬼の字を用いることもありますが、鬼といえば思い起こす地獄の鬼をはじめとして、雷神のような鬼の様態を示す派生的な存在まで、幅広く鬼として捉えられています。森羅万象を描いた北斎の作品から、これら日本における広範な鬼の語の使用例や捉え方をうかがうことができます。本章では北斎の作品を通して、江戸時代の人々がどのように鬼をイメージし、どのような存在を鬼と考えていたかを紐解いていきます。

冤鬼（えんき）

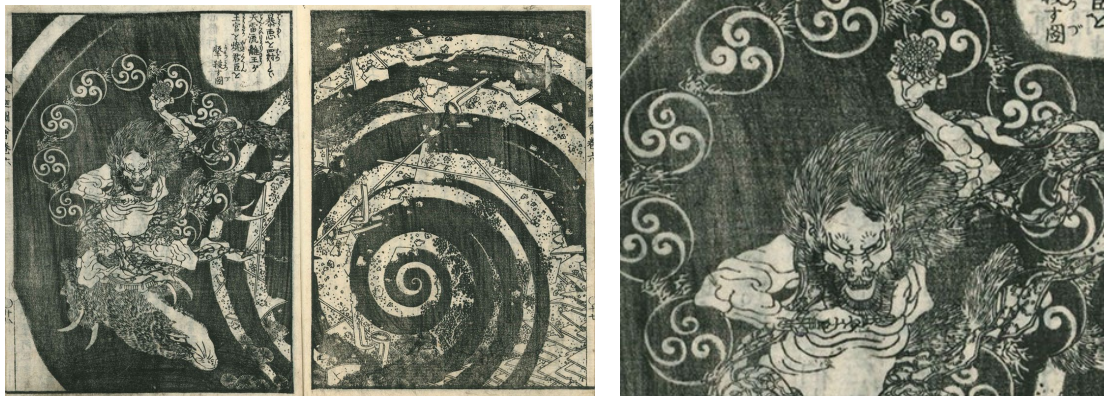


葛飾北斎『近世怪談 霜夜星』一 高西伊兵衛 於澤冤鬼 すみだ北斎美術館蔵（通期）



本図は北斎が挿絵を担当した読本（*1）『近世怪談 霜夜星』の挿絵で、お沢が死後に怨霊となり、夫の伊兵衛に襲いかかる場面が描かれています。注目すべきは怨霊を冤鬼（えんき、恨めしい鬼）と表記している点です。鬼という字が、元々中国で用いられてきた死霊の意味でも、江戸の人々に認知されていたことがわかります。

釈迦の伝記に登場する雷神



葛飾北斎『釈迦御一代記図会』六 暴悪を罰して天雷流離王が王宮を焼君臣を撃殺す図 すみだ北斎美術館蔵（通期）

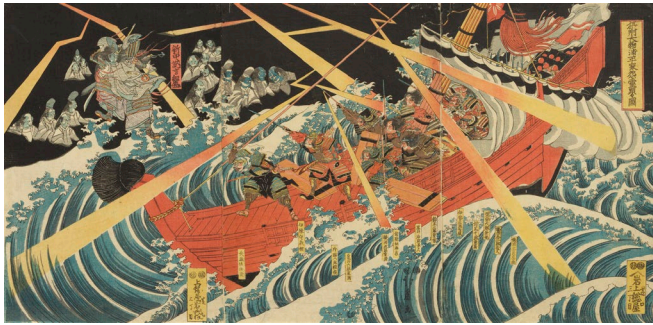
読本『釈迦御一代記図会』に登場する釈迦の伝記の一場面です。左に武器を振り上げて天罰の雷撃を落とす雷神、右に爆風渦巻く中に破壊される王宮を対比させるという、画面構成の大胆さが目を惹きつけます。北斎は、古来描き継がれてきた雷神にのっとり、雷神の背後に雷太鼓を描いていますが、乗り物は雲でなく雷獣に、顔は陰しく恐ろしい形相とするなど、独自性を出しています。

*1 読本（よみほん）：江戸時代後期に流行した小説の一種で、挿絵とともに楽しまれました。

2章 鬼となった人、鬼にあった人

日本の歴史において、鬼となった人、鬼にあった人の存在が数多く伝えられています。本章では実在した歴史上の人物のうち、鬼となった人、鬼にあったとされる人々の事績やエピソードをもとに制作された北斎の作品を紹介します。壮絶な恨みを抱いて鬼となった人、鬼に助けられた人、強力な呪術で鬼を使役した人など、鬼にまつわる多彩なエピソードを通して、古来日本人が、不幸のうちに亡くなった人々を鬼としておそれ、不思議な出来事を鬼と結びつけて考えてきたことを感じていただけるでしょう。

平家一門



葛飾北斎「摂州大物浦平家怨霊顕る図」すみだ北斎美術館蔵（後期）



源頼朝から刺客を放たれた源義経は、文治元年（1185）に大物浦（兵庫県尼崎市）から西国に逃亡しようとし遭難してしまいます。その史実が『平家物語』などで語り継がれるうちに、平家の怨霊の祟りによるとされ、能や歌舞伎の演目「船弁慶」などに戯曲化され広く知られるようになりました。

北斎門人の葛飾北斎（かつしか ほうき）による本図も、この事件を描いています。三枚続きの大画面に、嵐に翻弄される義経の船、長刀（なぎなた）を手に鬼神のごとく襲いかかる平知盛と平家一門の怨霊があらわされています。

角大師（良源）



蹄齋北馬「角大師と蝸牛図」すみだ北斎美術館蔵（前期）

角大師とは、平安前期の天台宗の僧、良源が鬼に化身した姿を指します。良源は自らにとりついた疫病神を法力で退散させましたが、疫病に苦しむ民を救うため一心に念じて2本角の瘦せた鬼の姿となり、それを弟子に写させ護符にしたといわれます。

本作は北斎門人の蹄齋北馬（ていさい ほうくば）が、角大師と蝸牛（かたつむり）を洒脱な筆づかいで描いた肉筆画（*2）です。

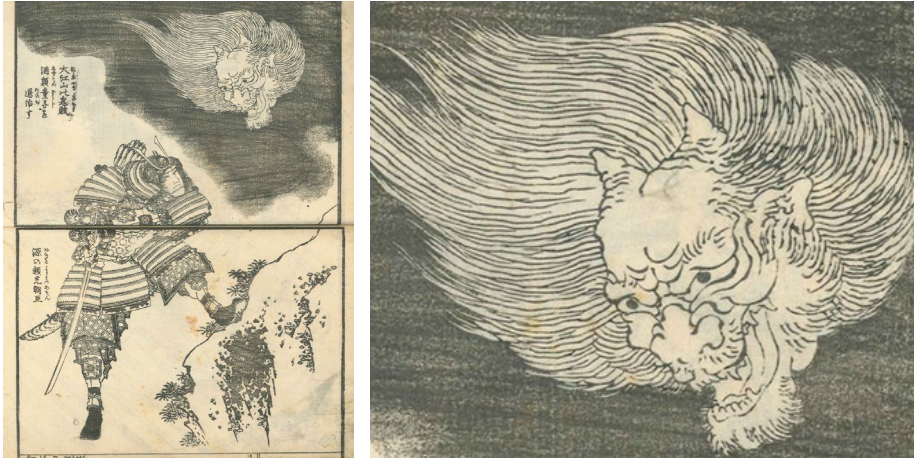
*2 肉筆画：浮世絵の中でも版画とは異なり、絵師が絵筆で直接紙や絹に描いた作品のこと。

3章 神話・物語のなかの鬼

日本の神話・物語には、数多くの鬼が登場します。それらの鬼は、江戸時代において、錦絵や版本など江戸のメディアでも広く知られ、北斎も作品としています。本章では日本神話や伝説、小説・演劇などの物語に登場する恐ろしい鬼、哀しい鬼、強者のイメージとしての鬼などを集め、さまざまな鬼の様相を紹介します。

また、本章の目玉となる北斎の肉筆画「道成寺図」は、修復後初公開となります。ご報道いただける場合は、広報担当までご連絡ください。（詳細は別紙参照。）

酒呑童子



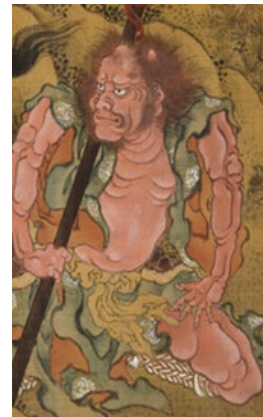
葛飾北斎『絵本和漢誉』大江山の鬼賊酒呑童子を退治す 源の頼光朝臣 すみだ北斎美術館蔵（通期）

武勇で名高い平安中期の武将・源頼光が、鬼の頭領・酒呑童子を退治する様子を、見開きのページを縦に使い、両者を上下に対峙させて描いています。頼光によって切断された酒呑童子の首が、不敵な笑みを浮かべて中空に舞う様子が黒い闇の背景とともにあらわされ、底知れない不気味さを漂わせています。

鬼夜叉



卍楼北斎「為朝と鬼ヶ島図」すみだ北斎美術館蔵（後期）



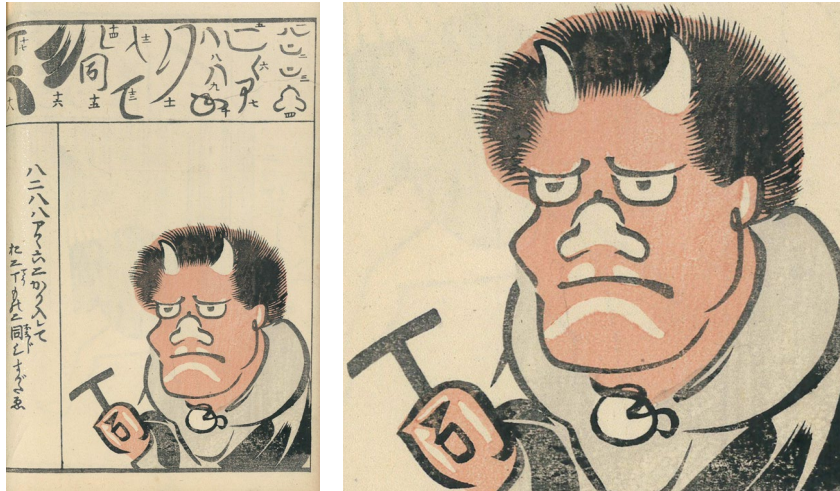
北斎の門人ないし孫弟子ともいわれる卍楼北斎（まんじろう ほか）の新出の肉筆画です。力強く緻密な筆づかいは、北斎を彷彿とさせ、北斎の作品の中でも優品に位置づけられます。

本作は、江戸時代のベストセラーとも評される、北斎が挿絵を担当した読本『椿説弓張月』の話をもとに、伊豆大島に流された源為朝が、弓矢で岩を打ち砕く場面が描かれています。画面中央から少し右に描かれている赤鬼のような風貌の人物は、七郎三郎（しっちょうさぼり、通称：鬼夜叉）です。七郎三郎は、海の潮風に焼けた赤肌で角のような2つの瘤があり、その風貌から為朝によって鬼夜叉と名づけられました。本作では鬼そのものの姿で描かれています。

4章 親しまれる鬼

鬼は恐れられるだけではなく、暮らしのなかで親しまれる存在でもありました。例えば金太郎や桃太郎などの昔話に登場する鬼は、多くの人々が子どもの頃から慣れ親しんだ存在です。鬼瓦は、恐ろしい表情の鬼の顔で瓦を装飾することで魔除けとし、建物を守ります。本章では暮らしの中での身近な鬼とともに、ユーモラスな鬼の姿を集め、北斎の軽妙な筆が捉えた愛すべき鬼たちを紹介します。

鬼の寒念仏



葛飾北斎『北斎略画手ほどき』すみだ北斎美術館蔵（通期）

大津絵の「鬼の寒念仏」は、江戸時代、東海道の旅人たちが大津宿の土産物や魔除けとして買い求めた人気キャラクターでもありました。当時既に稀少となった『北斎略画手ほどき』は、北斎の文字絵の教本を大正時代に再版したものです。本ページでは、絵描き歌に詠み込んだ文字を組み合わせて、大津絵の「鬼の寒念仏」の描き方が説明されています。単純な運筆で表された鬼の表情は不満げで、親しみやすさも感じさせます。

お面の鬼



葛飾北斎「鬼とお多福面」すみだ北斎美術館蔵（後期）

鬼は、節分の豆まきや神楽などの諸行事に頻繁に登場し、江戸時代の人々にとって身近な存在でした。本作には、新春を寿ぐ狂歌にあわせ、春を迎える節分に用いられる、鬼とお多福の面が描かれています。お多福の面を裏側にすることで、鬼の面のひょうきんな表情に視線がひきつけられます。

特別展「北斎 百鬼見参」開催概要

展覧会名	北斎 百鬼見参
会期	2022年6月21日(火)～8月28日(日) ※前後期で一部展示替えを予定 前期 6月21日(火)～7月24日(日)、後期 7月26日(火)～8月28日(日)
休館日	毎週月曜日 ※開館：7月18日(月・祝)、休館：7月19日(火)
開館時間	9:30～17:30 (入館は17:00まで)
主催	墨田区・すみだ北斎美術館
お問い合わせ	03-6658-8936 (9:30～17:30 ※休館日を除く)
公式サイト	https://hokusai-museum.jp/HyakkiKenzan/

■観覧料

通常料金	一般	高校生 大学生	65歳以上	中学生	障がい者	小学生以下
個人	1,200円	900円	900円	400円	400円	無料
団体	960円	720円	720円	320円	320円	無料

- 本展のチケットは、会期中観覧日当日に限り、AURORA(常設展示室)もご覧になれます。
- 団体での来館は、当面の間、受付を行いません。

■前売券

販売期間：2022年6月19日(日)まで販売中。

販売場所：すみだ北斎美術館 1階エントランス受付(開館日の9:30～17:00)

通常料金の20%引き!

前売料金	一般	高校生 大学生	65歳以上	中学生	障がい者	小学生以下
個人	960円	720円	720円	320円	320円	無料

- 中学生、高校生、大学生(高専、専門学校、専修学校生含む)は生徒手帳または学生証をご提示ください。
- 65歳以上の方は年齢を証明できるものをご提示ください。
- 身体障がい者手帳、愛の手帳、療育手帳、精神障がい者保健福祉手帳、被爆者健康手帳などをお持ちの方及びその付添の方1名まで、障がい者料金でご覧いただけます。入館の際は、身体障がい者手帳などの提示をお願いします。
- 団体販売はございません。
- 他の割引サービスは併用できません。
- 支払い方法は、現金またはPayPayとなります。
- 当前売券での観覧当日に限り、AURORA(常設展示室)もご覧いただけます。
- この前売券は、特別に印刷されたものではなく、当館受付で通常の発券システムを使用して発券するものとなりますので、予めご了承ください。

■関連イベント

○スライドトーク「北斎 百鬼見参」展の見どころ

講師 当館学芸・教育普及担当

日時 7月2日(土)、7月30日(土) 各日14:00～14:30(開場13:30)

会場 MARUGEN100(講座室)

定員 40名予定(当日13:30から講座室入口にて整理券配布)

料金 無料(ただし、観覧券または、年間パスポートが必要です)

○講演会「北斎時代の妖怪文化―百鬼夜行と百物語の世界」

講師 湯本豪一 湯本豪一記念日本妖怪博物館(三次もののけミュージアム)名誉館長

日時 7月16日(土)14:00～15:30(開場13:30)

会場 MARUGEN100(講座室)

定員 40名予定(当日13:30から講座室入口にて整理券配布)

料金 無料(ただし、観覧券または、年間パスポートが必要です)

○講演会「森羅万象を描いた絵師・北斎の百鬼—多彩な表現と鬼の歴史」

講師 奥田敦子 すみだ北斎美術館 主任学芸員

日時 8月20日（土）14:00～15:30（開場 13:30）

会場 MARUGEN100（講座室）

定員 40名予定（当日 13:30 から講座室入口にて整理券配布）

料金 無料（ただし、観覧券または、年間パスポートが必要です）

- 新型コロナウイルス感染予防・拡大防止のため、会期・開館時間・観覧料・イベント・講演会の開催など変更、中止の可能性がございます。
- 最新の状況は、すみだ北斎美術館公式ホームページにて最新情報をご確認ください。

本展公式図録を発売します！

すみだ北斎美術館「北斎 百鬼見参」展（2022年6月21日～8月28日）公式図録をすみだ北斎美術館ミュージアムショップをはじめ、全国書店で発売します。本展で当館初公開の肉筆画「道成寺図」のほか、「百物語」シリーズから「笑ひはんにや」「しうねん」「さらやしき」、『椿説弓張月』『北斎漫画』等の版本、摺物の作品など、出品作品の図版と解説を網羅した図録です。

タイトル	北斎 百鬼見参
著者	すみだ北斎美術館
出版社	講談社
価格	2,640円（税込）
発売日	2022年6月20日（月）
形態 / ページ数	単行本 192ページ
ISBN	ISBN978-4-06528083-6

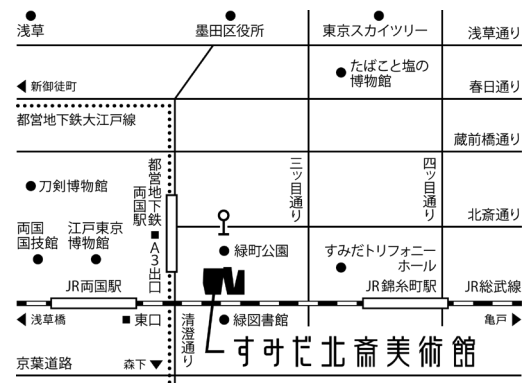
今後の企画展のお知らせ

展覧会名	北斎ブックワールド ―知られざる板本の世界―
会期	2022年9月21日(水)～11月27日(日) ※前後期で一部展示替えを予定 前期 9月21日(水)～10月23日(日) 後期 10月25日(火)～11月27日(日)
休館日	毎週月曜日 ※開館：10月10日(月・祝)、休館：10月11日(火)
開館時間	9:30～17:30 (入館は17:00まで)
主催	墨田区・すみだ北斎美術館

浮世絵ときくと、「富嶽三十六景」のような一枚摺の版画を思い浮かべることが多いと思いますが、その起源は板木に文字や挿絵を彫って摺ったものを本に仕立てた板本で、絵のみが独立したともいわれます。北斎は板本も数多く刊行しています。本展では、このような板本に注目し、その魅力をお伝えします。

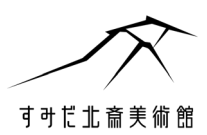
すみだ北斎美術館 The Sumida Hokusai Museum

開館時間	9:30～17:30 (入館は17:00まで)
休館日	毎週月曜日(月曜が祝日または振替休日の場合はその翌平日)、 年末年始(12月29日～1月1日)
所在地	〒130-0014 東京都墨田区亀沢 2-7-2
お問い合わせ	03-6658-8936 (9:30～17:30 ※休館日を除く)
公式サイト	https://hokusai-museum.jp/
Twitter	https://twitter.com/HokusaiMuseum/
Facebook	https://www.facebook.com/THE.SUMIDA.HOKUSAI.MUSEUM/
YouTube	https://www.youtube.com/channel/UC2ywKxcxhYowjfoAk2LflRg
アクセス	都営地下鉄大江戸線「両国駅」A3出口より徒歩5分 JR総武線「両国駅」東口より徒歩9分 JR総武線「錦糸町駅」北口より墨田区内循環バスで5分



報道関係の
お問い合わせ先

すみだ北斎美術館 広報・プロモーショングループ
野田 / 中原 / 林 (アシスタント高橋)
TEL : 03-6658-8991 / FAX : 03-6658-8992
Email : hm-pr@hokusai-museum.jp



｜ 入館方法のご案内 ｜

当館では、新型コロナウイルス感染症の感染・拡散を防止し、皆さまに安心してご鑑賞いただくために、以下をお願いしております。ご来館前に必ずご一読いただき、ご協力いただきますようお願いいたします。なお、当館では入館のための日時指定予約を行っておりません。ご希望の日時にお越しください。館内・展示室内・ミュージアムショップ内が混雑し、一定の人数を超えた場合は入場制限を行う場合がありますので、ご了承ください。

なお、今後予告なしに展覧会の会期・開館時間・観覧料・イベント・講演会の開催など変更、中止の可能性がございます。最新の情報を当館ホームページでご確認のうえ、ご来館ください。

｜ ご来館のお客様へのお願い ｜

(2021年11月2日更新)

- 発熱及び体調不良の方は、来館自粛のほどお願いいたします。
- 入館前の検温と手指消毒
入館時に検温と手指の消毒をお願いしています。
チケットカウンターに自動検温/手指消毒器（非接触型）を設置しています。検温の結果37.5℃以上の発熱が確認された場合は、入館をご遠慮ください。咳・のどの痛み・発熱・倦怠感などの症状があるお客様は入館をお控えください。消毒のご協力が難しい際は、入館をご遠慮いただく場合がございます。

ミュージアムショップ入口に手指消毒液を設置しています。入店時には再度手指の消毒をお願いしています。

<ご観覧前/後>
4階のAURORA（常設展示室）にはタッチパネルがあります。ご観覧前/後には消毒液にて手指の消毒をお願いいたします。
- マスク着用
館内ではマスクご着用を必ずお願いいたします。咳やくしゃみをされる際には「咳エチケット」（マスク、ハンカチ、ティッシュなどで口をしっかりと覆う）にご協力ください。
- 観覧券保管
入館日の確定のため、観覧券半券はお持ち帰りの上、保管をお願いいたします。
- 入場制限
館内滞在人数によっては、入館制限、展示室の入場制限、ミュージアムショップの入場制限を実施することがあります。
- エレベーター定員
エレベーターの定員を3名に制限しております。ご家族や介助者の方は同時にご利用いただけます。
- 展示室、ミュージアムショップをはじめ、館内での会話はお控えください。
- 展示室内の展示ケースにはお手を触れないでください。

｜ すみだ北斎美術館の感染予防対策 ｜

- お客様がご利用になる手摺り、エレベーター操作ボタン、洗面所の取手/カラン等は1日4回の消毒作業を実施しております。展示ケース等の一部には水分やアルコールが使えないため乾拭きのみ実施しております。
- お客様と接する当館スタッフはマスクを着用しております。
受付・ショップにウイルス飛沫予防のパネルを設置しております。
- 良好な館内環境を保つため、入館制限やお声掛けを行う場合がございます。
- 新規の団体ご予約は当面の間中止いたします。

特別展「北斎 百鬼見参」 展覧会広報用 作品画像請求紙

画像のお申込みにあたり以下の注意事項を必ずご一読いただき、全て遵守をお願いいたします。

◀ 画像貸出に関して注意事項 ▶

- ・画像を使用の際は、クレジット全文（作家名・作品名・所蔵先・展示期間）の表記が必須となります。
- ・画像は記事などで本展をご紹介いただける場合に限りご利用いただけます。
本展の広報に関わらない出版物や映像への使用・転載、商業利用はできません。
- ・画像の複製・貸与・頒布・配布・販売などはお断りいたします。
- ・画像は全図でご掲載ください（部分図のみの使用は不可となります）。
- ・ご使用後は、画像データの破棄をお願いいたします。
- ・展示作品は都合により変更することがあります。

ご希望の番号にチェックをお願いいたします。

1. 葛飾北斎『近世怪談 霜夜星』一 高西伊兵衛 於沢冤鬼 すみだ北斎美術館蔵（通期）
-
2. 葛飾北斎『釈迦御一代記図会』六 暴悪を罰して天雷流離王が王宮を焼君臣を撃殺す図
すみだ北斎美術館蔵（通期）
-
3. 葛飾北斎「摂州大物浦平家怨霊顕る図」すみだ北斎美術館蔵（後期）
-
4. 蹄齋北馬「角大師と蝸牛図」すみだ北斎美術館蔵（前期）
-
5. 葛飾北斎『絵本和漢誉』大江山の鬼賊酒顛童子を退治す 源の頼光朝臣 すみだ北斎美術館蔵
（通期）
-
6. 卍楼北鷺「為朝と鬼ヶ島図」すみだ北斎美術館蔵（後期）
-
7. 葛飾北斎『北斎略画手ほどき』すみだ北斎美術館蔵（通期）
-
8. 葛飾北斎「鬼とお多福面」すみだ北斎美術館蔵（後期）

貴社名
貴媒体名
部署名 (役職名)
ご芳名
ご連絡先 TEL FAX E-mail
ご掲載・放送予定 月 日
備考 ※ご要望などございましたらご記入下さい。



報道関係の
お問い合わせ先

すみだ北斎美術館 広報・プロモーショングループ
野田 / 中原 / 林 (アシスタント高橋)
TEL : 03-6658-8991 / FAX : 03-6658-8992
Email : hm-pr@hokusai-museum.jp



2022年5月18日
 すみだ北斎美術館

特別展「北斎 百鬼見参」 葛飾北斎「道成寺図」 修復後初公開

特別展「北斎 百鬼見参」での展示のため、葛飾北斎「道成寺図」の本紙部分及び周囲の掛軸表装の修復を行いました。本展が修復後の初公開となり、すみだ北斎美術館での展示も初となります。展示期間：特別展「北斎 百鬼見参」前期（2022年6月21日～7月24日）。ご報道いただける場合は、広報担当までお問合せください。



〔作者名〕 葛飾北斎

〔作品名〕 道成寺図

〔所蔵〕 すみだ北斎美術館

〔年代〕 文化（1804-18）前期頃

〔解説〕 道成寺（和歌山県日高郡日高川町）に伝わる安珍・清姫伝説をもとにした能「道成寺」が描かれた北斎の肉筆画です。

伝説では、安珍を追って毒蛇となった清姫が、寺の釣鐘に隠れた安珍を焼き殺してしまいますが、能ではその後日譚が描かれていません。本図は演目後半の見せ場で、鬼女の面を着け蛇体に扮した後、シテがシテ柱に巻き付く「柱巻き」が描かれています。妖力を用いる際に使う打ち杖を振り上げながら柱に絡みつ়姿は、爪先に至るまで神経が張りつめ緊張感があります。なお、能そのものを描いた北斎の肉筆画は他に例がないことから、珍しい作品といえます。

■ 「道成寺図」の修復について

《本紙の部分修復》

表装全体が波打ち、本紙に折山が生じていたのを平らにしました。（図1・2）
また、穴を補い、その部分に補彩しました。（図3・4）

《表装全体の改装》

修復前の落ち着いた印象から、重量感のあるやや幅広い印象に変更しました。特に絵の周囲の中廻しと呼ばれる部分は、雲龍柄の古銀欄に裂地を変更し、作品に合わせた迫力あるものにしました。（図5・図6）

